

令和6年度 在宅医療介護推進部会 のスケジュールについて

令和6年6月27日(木)

令和6年度 年間スケジュール

		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
医療介護の多職種連携の強化・推進	【入退院支援】			【多職種連携研修会 ①（7月～1月頃）】 ○事例報告＋グループワーク						【調査実施：2月頃】 運用状況調査 （マニュアル運用7年後）			
	【日常の療養支援】												
	在宅医療介護推進部会		【第1回 6月末頃】 ○令和6年度の予定について ロジックモデル（ロードマップ） に基づいて事業実施		【第2回 9～10月頃】（オンライン） ○ロジックモデルについて講演 ・指標設定の方法（仮題） ・第3回在宅部会までの依頼			【第3回 11月～12月頃】 ○令和6年度事業の中間評価、指標設定 ・人生会議（ACP） ・BCP、多職種連携研修 ・その他、取組状況確認・報告		【第4回 2月～3月頃】 OR6事業の評価 OR7事業計画（案） →ロジックモデルに基づき事業評価			
	同職種連絡会			【連携型BCP・地域BCP策定を目的として取組を実施予定：時期未定】 ○令和5年度のモデル事業の進捗に応じて詳細を決定 ○令和6年度も継続実施 ⇒平時の連携強化を進めるための取組として実施									
	【急変時の対応】	【時期未定】 ○医療・介護・介護予防情報ナビによる事業所情報調査											
【「看取り」】の環境整備	専門職対象		【ファシリテーター養成：時期未定】 ○人生会議（ACP）に関する研修を実施			【多職種連携研修会 ②（7～1月頃）】 ○事例報告＋グループワーク							
	市民対象		【どこでも講座等の実施：適時】 ○想いを伝える「私ノート」、ボードゲーム等を活用した講座を実施										
【連携型BCP・地域BCP】の策定	連携型BCP・地域BCPの策定			【連携型BCP・地域BCP策定を目的として取組を実施予定：時期未定】（再掲） ○令和5年度のモデル事業の進捗に応じて詳細を決定 ○令和6年度も継続実施									
備 考		・令和6年度 NW協議会を実施後に第1回 在宅部会を実施予定です。											

1 入退院支援

(1)多職種連携研修会

【内 容】

- 行政報告
 - ⇒入退院調整マニュアルの概要＋調査報告書
- 医療機関：マニュアルの活用方法や入退院調整方法
居宅、包括：役割、業務の内容等を説明
 - ⇒市内病院：1～2名程度
市内居宅・包括：各1名 から報告
- グループワーク
 - ⇒入退院調整における各機関の役割について意見交換、
入退院調マニュアルの変更の必要性について 等

1 入退院支援

(2)生駒市入退院調整状況調査

- 12月中旬 入退院調整マニュアル調査票(案)作成
⇒ 多職種連携研修会のグループワークの内容等により、調査票項目の修正
- 1月下旬 調査票送付
- 2月中旬 調査実施

※例年と同様のスケジュールにて実施

2 日常の療養支援

(1)在宅医療介護推進部会

第1回 在宅部会 6月27日 14時～16時

第2回 在宅部会 9月～10月頃 14時～15時30分
(Zoomによるオンライン予定)

第3回 在宅部会 11月頃 14時～16時

第4回 在宅部会 2月～3月頃 14時～16時

2 日常の療養支援

(2)同職種連絡会

- 1 病診連携、病病連携の取組を実施
⇒災害における協定書の見直し
- 2 訪問看護ステーション連携協定作成に向けた支援を実施
- 3 その他、訪問介護や小規模多機能事業所などの意向を確認して、実施方法を検討

※連携型BCP・地域BCPの取組についてと同様
(令和5年度 モデル事業からの継続実施)

3 急変時の対応

- 医療・介護・介護予防情報ナビ情報の一斉調査を実施
- 7／9(火)～調査開始予定
事業所へのFAXまたは、郵送による調査

4 看取りの環境整備

(1) ACP普及啓発のためのファシリテーター養成①

【目的】

市民などACPを知らない人に知ってもらうきっかけ作りをする研修(講座)を開催するための、ファシリテーターを養成

【ファシリテーターの役割】

生駒市が実施しているどこでも講座の講師、事業所(法人内)においてACPに関する講演を実施するなどを想定

【対象】

地域包括支援センター、ケアマネジャー、訪問看護師など
市内の医療介護従事者

4 看取りの環境整備

(1) ACP普及啓発のためのファシリテーター養成②

【方法】

①現地開催(年に1回程度)

②オンライン開催(年に数回程度)

⇒希望する法人や事業所、病院等向けに実施

【内容】

ACPに関する講演、私ノート・エンディングゲーム・
もしバナカードゲームの説明と各種ゲームの体験

4 看取りの環境整備

(2) 多職種連携研修会

【案1】

市内事業所における看取りケースの事例報告+GW

※事例提供者は部会員または、部会員から紹介

【案2】

先進事例紹介(在宅医療における事業所連携等)+GW

※講師例:葛西医院(大阪市生野区)、
うちの診療所(東京都中野区)、
他部会員が推薦する講師等

【案3】

部会員等からやりたい・やってほしい内容にて実施

4 看取りの環境整備

(3) どこでも講座の実施

【対 象】

市内に住むか市内へ通勤・通学している人を主な構成員とし、どこでも講座開催の際に、おおむね10人以上の参加者を集めることが出来る団体・グループ

【テーマ】

人生会議(ACP)を知ろう

【内 容】

想いを伝える「私ノート」の作成やボードゲーム、もしバナゲームなどを通して、人生会議を知り、自分が受けたい医療やケアを考える講座

※申し込みがあった団体に対して、地域医療課が実施